

～「よし！ごみを減らそう！」と思ってくれる人が一人でも増えるように願いを込めて～



4R通信（第35号）

断わる 減らす 繰り返し使う 資源化する
 『リフューズ♪リデュース♪リユース♪リサイクル』

いらない物はもらわない！断る勇氣！

4Rの中でも、『リフューズ（断る）』は、なかなか認知度が低く、実践できないと思いますが、リフューズは、「**ごみそのものを出さない**」といった、一番基礎となる行動です。明日からは、次のような取り組みを勇氣を持って実践してみてください！



取組例	内容
レジ袋を断る	令和2年7月1日からは使い捨てプラ削減のため、レジ袋の有料化が実施されます。お買い物の際はマイバックを持ちましょう。
過剰包装を断る	プレゼントは別ですが、自宅で使う物の余計な包装は断りましょう。
箸やおしぼりなど不要な場合は断る	コンビニでおにぎりやお弁当を購入すると、箸やおしぼりをくれますが、不要な場合は断りましょう。
ティッシュ、チラシ、クーポンなど不必要にもらわない！	街頭で配布している、ティッシュやチラシは欲しい時のみもらい、いらないときは断りましょう。

不要になった物は賢くリユース！

『リユース（繰り返し使う）』は、繰り返し使える商品の購入やフリーマーケットなどを活用して再利用することです。なので、いらない物ものを『メルカリ』などで売ることも立派なリユースの一つです。「**不要になった物**」＝「捨てる物」とは**限りません！**自分にはいらないとしても、他の誰かはほしいかも！？すぐに捨てるのではなく、ほしい人を探してみましょ！



取組例	内容
フリーマーケットで売る	大曽公園や小脇公園でフリーマーケットを毎年実施しております。いらない物はまとめて売ってしまいましょう。
フリマアプリで売る	現在は、メルカリやラクマなど多くのフリマアプリがあります。自宅に居ながら手軽にリユースができます。
市の不要品情報コーナーを活用	不要品を「譲ります」、「求めます」いずれかで市に登録し、希望に一致する物品があれば交渉になります。
いらなくなった物を知り合いに譲る	子ども用品などは必要な期間が短い物は、知り合いに譲り、物の寿命を最大限に活かしましょう。



「4R ところなめ チャレンジ500」気が付けば わたしが主役 ごみ減量
 常滑市では、1人1日当たりの家庭ごみ排出量**500g**を目標としています。

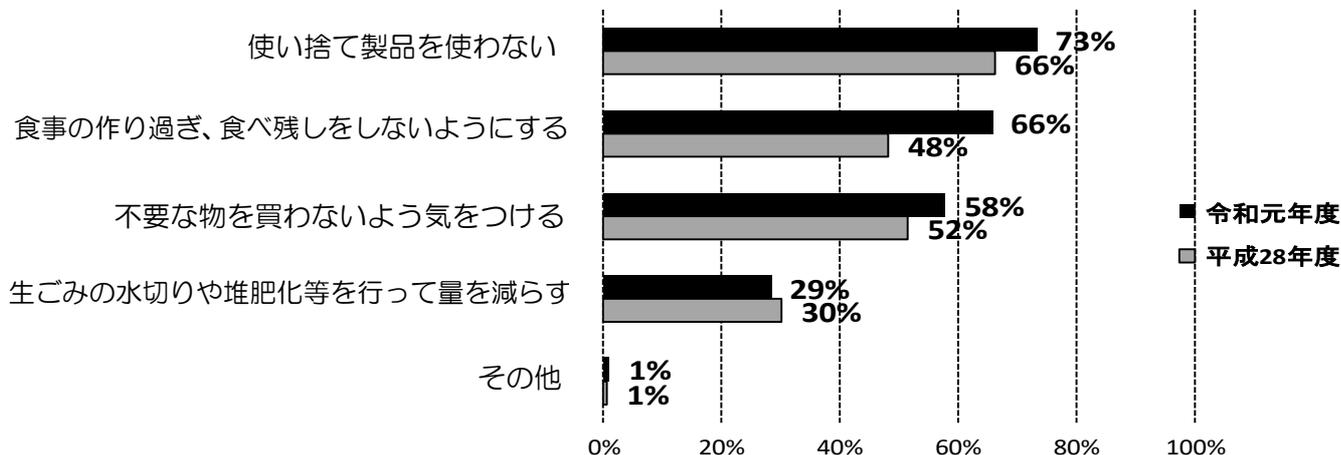


【お問い合わせ】生活環境課 0569-47-6115

アンケート調査の結果②

2019年8月に、『常滑市ごみ減量化推進計画2017』の見直しのため、アンケート調査を実施しました！その集計結果を連載します！

質問：4Rの中で2番目に重要な「リデュース（減らす）」の行動について、日ごろどんなことを実行していますか。



「使い捨て製品を使わない」が73%と最も高く、3年前の調査より7%増えています。また、「食べ残しをしないようにする」が66%と次に高く、3年前の調査より18%も増えました。

28年度の調査よりリデュースの行動を実行している人が増えていますが、「生ごみの水切りや堆肥化」のみ減っております。生ごみの約80%が水分と言われておりますので、水切りの徹底をお願いいたします。

食品ロス0%への道⑤

食品ロスを減らすための『まめ知識』を連載しています。

今回は、「フードバンク」をご紹介します！

フードバンクとは、包装が破れてしまっているような規格外品や賞味期限が近いなどの理由により、まだ食べられるのに捨ててしまう食料品を企業や個人から引き取り、食べることに困っている人や福祉団体へ無償で提供する活動のことをいいます。

常滑市では、常滑市社会福祉協議会がフードバンク活動を行っています。

ご家庭に使わない食料品がある場合は、フードバンク活動にご協力ください！

フードバンクに適する食料品

- ・缶詰、瓶詰
- ・乾麺
- ・お米
- ・野菜（傷んでいないもの）



連絡先：常滑市社会福祉協議会
(0569)43-0660